

高知県感染症発生動向調査（週報）

2013年 第37週（9月9日～9月15日）

★ お知らせ

○手足口病まだまだ注意して！

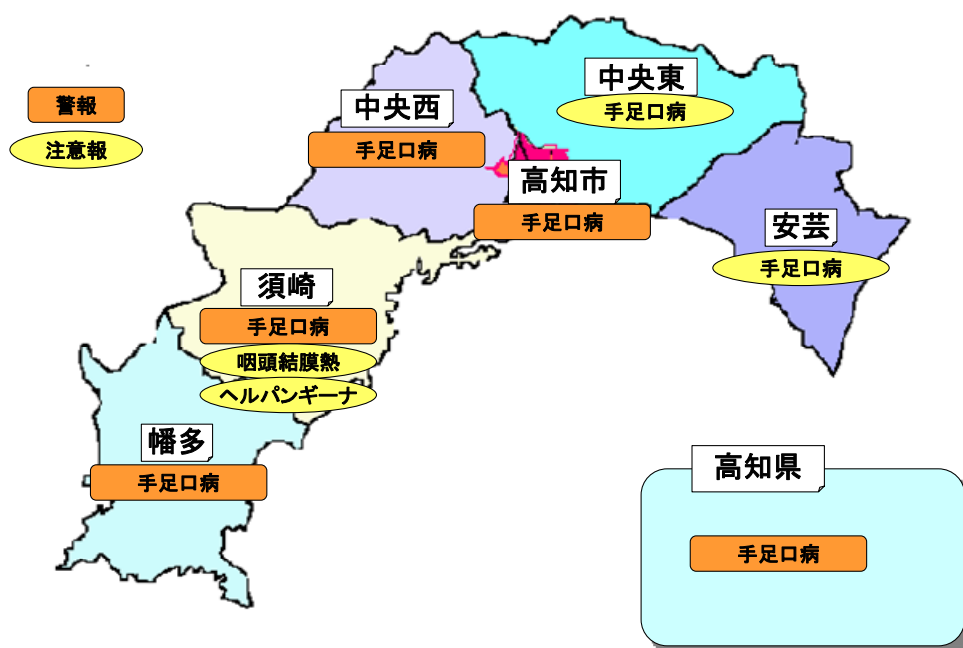
定点医療機関からの報告数は県全域で増加し、引き続き警報値を超えています。特に、高知市以西で増加しています。この病気は、口の中、手のひら、足の裏などに発しんや水疱ができます。ごくまれに髄膜炎や脳炎などを生じることがありますので、高熱や嘔吐、頭痛などがある場合は注意してください。また、倦怠感や口腔内の痛みなどから食事や水分を十分にとれず、脱水になることもありますので、こまめな水分補給を心がけてください。回復後も2～4週間の長期にわたり便からウイルスが検出されることがあるので、幼稚園、保育園、学校など集団生活ではタオル・コップ等を共用することは避けましょう。特に、外出後、食事の前、トイレの後に手洗いをしましょう。

★ 県内での感染症発生状況

定点把握感染症（上位疾患） ↑：急増 ↗：増加 →：横ばい ↘：減少 ↓：急減

疾病名	推移	定点当たり報告数	県内の傾向
手足口病	↗	6.73	中央西、須崎、高知市、幡多で増加し、県全域及び中央西、須崎、高知市、幡多では警報値を、中央東、安芸では注意報値を超えている。
感染性胃腸炎	→	1.33	高知市で増加しているが、全体ではあまり変化は無い。
ヘルパンギーナ	↗	1.27	須崎、幡多、中央西、安芸で増加し、須崎では注意報値を超えている。
マイコプラズマ肺炎	↑	1.00	中央東で4人、高知市で3人、安芸で1人に増加している。
流行性耳下腺炎	→	0.80	高知市で増加しているが、全体ではあまり変化は無い。

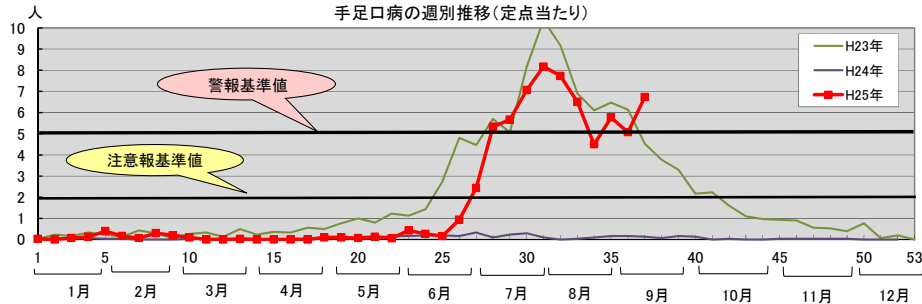
★ 地域別感染症発生状況



★ 気を付けて

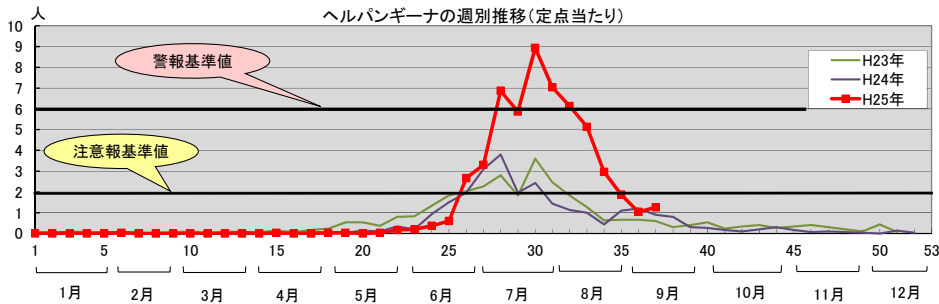
○手足口病：6.73（注意報値：2.00 警報値：5.00）

定点医療機関からの報告では定点当たり6.73（前週：5.07）と増加し、警報値を超えています。地域別にみると、中央西（8.67：前週3.67）須崎（8.50：前週5.50）高知市（8.45：前週7.18）幡多（5.60前週：1.80）で増加し、警報値を超えています。また、中央東（4.29：前週4.43）安芸（4.00：前週5.50）では減少しましたが、注意報値を超えています。年齢別にみると患者の90%が3歳以下になっています。病原体定点からは、エンテロウイルス71が1例検出されています。



○ヘルパンギーナ：1.27（注意報値：2.00 警報値：6.00）

定点医療機関からの報告は1.27（前週：1.03）と再び増加しています。地域別にみると、須崎（2.00：前週1.00）幡多（1.60：前週0.80）中央西（1.33：前週0.00）安芸（1.00：前週0.50）で増加し、須崎では注意報値を超えています。年齢別にみると患者の87%が3歳以下になっています。



★ 病原体検出情報

前週以前に搬入

受付週	臨床診断名	年齢	性別	保健所	ウイルス、細菌の検出状況
31	ヘルパンギーナ	5	男	安芸	Enterovirus NT
36	手足口病	1	男	高知市	Enterovirus 71
36	感染性胃腸炎	2ヶ月	男	中央東	Rhinovirus

★ 全数把握感染症

類型	疾病名	件数	累計	内 容	保健所
2類	結核	7	102	50歳代(女)、60、70、90歳代	高知市
				70歳代(男)	中央西
				70歳代(男)	須崎
				50歳代(女)	幡多

★ 定点医療機関からのホット情報

保健所	医療機関	情 報
高知市	けら小児科・アレルギー科	マイコプラズマ肺炎1例(12歳男：LAMP法陽性)
	三愛病院小児科	带状疱疹1例(5歳男) マイコプラズマ感染症1例(4歳男)
中央西	くぼたこどもクリニック	手足口病1例(10ヶ月女：いの町)
	日高クリニック	マイコプラズマ肺炎1例(16歳女) マイコプラズマ気管支炎1例(2歳男)
須崎	もりはた小児科	アデノウイルス扁桃炎1例(4歳男) 咽頭結膜熱2例は母子 カンピロバクター腸炎2例(3、9歳)

★全国情報

第35週 (8/26～9/1)

1類感染症：報告なし

2類感染症：結核381例

3類感染症：細菌性赤痢6例、腸管出血性大腸菌感染症173例、腸チフス1例、パラチフス1例

4類感染症：E型肝炎1例、A型肝炎2例、オウム病1例、重症熱性血小板減少症候群1例、デング熱11例、日本紅斑熱8例、マラリア1例、ライム病6例、レジオネラ症20例、レプトスピラ症2例

5類感染症：アメーバ赤痢13例、ウイルス性肝炎2例、急性脳炎5例、クロイツフェルト・ヤコブ病4例
劇症型溶血性レンサ球菌感染症1例、後天性免疫不全症候群19例、ジアルジア症3例、梅毒24例
侵襲性インフルエンザ菌感染症3例、侵襲性肺炎球菌感染症4例、風しん55例、麻しん3例、
破傷風1例、バンコマイシン耐性腸球菌感染症1例

報告遅れ：細菌性赤痢2例、E型肝炎1例、急性脳炎1例、劇症型溶血性レンサ球菌感染症1例、
日本紅斑熱4例、先天性風しん症候群1例

◆ 先天性風疹症候群－2012年第1週～2013年第35週現在－

(注) 以下、本稿においては、感染症法に基づく感染症発生動向調査から得られた情報を基にまとめている。今後、状況の進展に伴い修正されることもありえるので注意されたい。

先天性風疹症候群 (CRS : congenital rubella syndrome) とは、風疹に感受性のある妊娠20週頃までの妊婦が風疹ウイルスに感染し、出生児に白内障、先天性心疾患、難聴等の症状が見られたものである。

2005～2011年まで、CRSの報告は年0～2例で推移していた。2012年には5例、2013年第35週 (2013年9月4日現在) までには13例の計18例が報告されている。ここでは2012年以降の18例について述べる。報告都道府県としては、東京都8例、愛知県2例、大阪府2例、兵庫県2例で、埼玉県、千葉県、神奈川県、香川県からはそれぞれ1例ずつであった。性別は男性11例、女性7例で、母親の風疹ワクチン接種歴は、なし9例、不明8例、あり1例であった。母親の妊娠中の風疹発症は、あり11例、不明4例、なし3例であった。発症を認めた11例のうち10例において発症時の妊娠週数の記載があり、その中央値は11.5週 (5～17週) であった。

CRSの検査室診断は、PCR法のみによるものが3例、血清IgM抗体のみによるものが9例、PCR法と血清IgM抗体によるものが6例であった。3徴として知られる白内障、先天性心疾患、難聴の主な症状については、白内障・先天性心疾患・難聴の3徴合併 (1例)、先天性心疾患・難聴の2徴合併 (1例)、白内障のみ (1例)、先天性心疾患のみ (11例)、難聴のみ (4例) となっていた。他の症状としては、色素性網膜症 (1例)、紫斑 (7例)、脾腫 (2例)、小頭症 (3例)、精神発達遅滞 (1例)、X線透過性の骨病変 (1例)、生後24時間以内に出現した黄疸 (3例) が認められた例があった (重複含む)。先天性心疾患の内訳として複数認められたものは、動脈管開存症、肺動脈狭窄症であった。

過去の報告からも、風疹の流行があるとCRS発生が増加することが知られている。2011年から始まった風疹の流行は2013年第19～22週にピークを迎えた。妊婦が風疹に罹患してからCRS児が出生するには、20～30週程度の時間差が生じるため、CRSの報告は今後、増加する可能性がある。

なお、風疹では不顕性感染が約15～30%程度あることから、妊婦が風疹ウイルス感染に気付かずに経過している場合がある。また、CRSにおいて最も多い難聴などの症状は出生直後には把握されにくいことにより、乳児期のしばらくの期間、CRSの症状把握を積極的に行われなければ診断が遅れ、患児に対する適切な療育支援の開始が遅れる可能性がある。さらに、CRSにおいては、鼻咽頭、尿から、数カ月をわたって風疹ウイルスが排泄されていることがあることから、周りにいる感受性者への対応についても考慮する必要がある。

具体的に、CRSを確実に診断するためには、妊娠初期に風疹ウイルスに感染した母より出生した新生児を対象とした確認、および乳児健診～1歳半健診時に児の症状を丁寧に確認することで早期診断に繋げることが出来ると考えられ、患児の成長発達にも良い効果が得られるのではないかと期待される。今後は、患児に対する医療・公衆衛生両面の望ましい療育支援のあり方について議論を深め実施していくとともに、予防として、妊娠を希望する女性への予防接種と、そのパートナーとなる男性への情報提供と風疹の予防啓発が重要である。

高知県感染症情報(58定点医療機関)

第37週 平成25年9月9日(月)～平成25年9月15日(日)

高知県衛生研究所

定点名	疾病名	保健所						計	前週	全国(36週)	高知県(37週末累計)		全国(36週末累計)	
		安芸	中央東	高知市	中央西	須崎	幡多				H24/12/31～H25/9/15	H24/12/31～H25/9/8		
インフルエンザ	インフルエンザ							()	()	68 (0.01)	11,198 (233.29)	1,136,498 (231.23)		
小児科	咽頭結核熱			5		2		7 (0.23)	16 (0.53)	1,674 (0.53)	143 (4.77)	49,814 (15.87)		
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	2	1	4	1		1	9 (0.30)	12 (0.40)	2,447 (0.78)	616 (20.53)	185,697 (59.16)		
	感染性胃腸炎	1	2	31	1	3	2	40 (1.33)	36 (1.20)	9,627 (3.06)	6,575 (219.17)	714,572 (227.64)		
	水痘		3	12		1		16 (0.53)	17 (0.57)	1,531 (0.49)	1,406 (46.87)	122,725 (39.10)		
	手足口病	8	30	93	26	17	28	202 (6.73)	152 (5.07)	12,206 (3.88)	2,062 (68.73)	240,900 (76.74)		
	伝染性紅斑			1				1 (0.03)	()	111 (0.04)	46 (1.53)	7,182 (2.29)		
	突発性発疹		4	8	4	1	3	20 (0.67)	11 (0.37)	1,982 (0.63)	449 (14.97)	62,972 (20.06)		
	百日咳							()	()	33 (0.01)	41 (1.37)	1,181 (0.38)		
	ヘルパンギーナ	2	5	15	4	4	8	38 (1.27)	31 (1.03)	3,629 (1.15)	1,637 (54.57)	83,156 (26.49)		
	流行性耳下腺炎	1	5	16	1		1	24 (0.80)	28 (0.93)	657 (0.21)	340 (11.33)	28,928 (9.22)		
RSウイルス感染症		1	1				11	13 (0.43)	12 (0.40)	2,551 (0.81)	570 (19.00)	35,691 (11.37)		
眼科	急性出血性結膜炎							()	()	8 (0.01)	()	538 (0.79)		
	流行性角結膜炎			2				2 (0.67)	()	520 (0.76)	15 (5.00)	14,170 (20.81)		
基幹	細菌性髄膜炎							()	()	6 (0.01)	6 (0.86)	313 (0.67)		
	無菌性髄膜炎			1				1 (0.13)	()	38 (0.08)	11 (1.57)	733 (1.56)		
	マイコプラズマ肺炎	1	4	3				8 (1.00)	1 (0.13)	151 (0.32)	181 (25.86)	8,464 (18.05)		
	クラミジア肺炎(オウム病は除く)							()	1 (0.13)	14 (0.03)	14 (2.00)	530 (1.13)		
計	15	55	192	37	28	54	381		37,253	25,310	2,694,064			
(小児科定点当たり人数)	(7.00)	(7.28)	(16.89)	(12.32)	(14.00)	(10.80)	(12.32)			(696.13)				
前週	16	53	169	18	19	42		317						
(小児科定点当たり人数)	(8.00)	(7.57)	(15.19)	(6.00)	(9.50)	(8.40)		(10.50)						

注 ()は定点当たり人数。

高知県感染症情報(58定点医療機関) 定点当たり人数

定点名	疾病名	保健所						計	前週	全国(36週)	高知県(37週末累計)		全国(36週末累計)	
		安芸	中央東	高知市	中央西	須崎	幡多				H24/12/31～H25/9/15	H24/12/31～H25/9/8		
インフルエンザ	インフルエンザ									0.01	233.29	231.23		
小児科	咽頭結核熱			0.45		1.00		0.23	0.53	0.53	4.77	15.87		
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.00	0.14	0.36	0.33		0.20	0.30	0.40	0.78	20.53	59.16		
	感染性胃腸炎	0.50	0.29	2.82	0.33	1.50	0.40	1.33	1.20	3.06	219.17	227.64		
	水痘		0.43	1.09		0.50		0.53	0.57	0.49	46.87	39.10		
	手足口病	4.00	4.29	8.45	8.67	8.50	5.60	6.73	5.07	3.88	68.73	76.74		
	伝染性紅斑			0.09				0.03		0.04	1.53	2.29		
	突発性発疹		0.57	0.73	1.33	0.50	0.60	0.67	0.37	0.63	14.97	20.06		
	百日咳									0.01	1.37	0.38		
	ヘルパンギーナ	1.00	0.71	1.36	1.33	2.00	1.60	1.27	1.03	1.15	54.57	26.49		
	流行性耳下腺炎	0.50	0.71	1.45	0.33		0.20	0.80	0.93	0.21	11.33	9.22		
RSウイルス感染症		0.14	0.09				2.20	0.43	0.81	19.00	11.37			
眼科	急性出血性結膜炎									0.01		0.79		
	流行性角結膜炎			2.00				0.67		0.76	5.00	20.81		
基幹	細菌性髄膜炎									0.01	0.86	0.67		
	無菌性髄膜炎			0.20				0.13		0.08	1.57	1.56		
	マイコプラズマ肺炎	1.00	4.00	0.60				1.00	0.13	0.32	25.86	18.05		
	クラミジア肺炎(オウム病は除く)								0.13	0.03	2.00	1.13		
計	7.00	7.28	16.89	12.32	14.00	10.80	12.32			696.13				
(小児科定点当たり人数)														
前週	8.00	7.57	15.19	6.00	9.50	8.40		10.50						
(小児科定点当たり人数)														

発行：高知県感染症情報センター（高知県衛生研究所）
〒780-0850 高知市丸ノ内2-4-1(保健衛生総合庁舎2階)
TEL：088-821-4961 FAX：088-825-2869